

京都市交響楽団  
第678回  
定期演奏会

愛、光、声と色彩。  
井上道義が京響を  
聴かせる、見せる、唸らせる。

2023 5/20(土)

午後2時30分開演 (午後1時30分開場)

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車  
出口1・3番から南へ徒歩約5分

Sat, May 20, 2023 / 2:30PM  
Kyoto Concert Hall

開演前  
(午後2時ごろから)  
は指揮者による  
「プレトーク」で  
お楽しみください。  
「プレトーク」はホール・ステージ上  
にて開催します。

ラヴェル:「ダフニスとクロエ」組曲 第2番

ドビュッシー:夜想曲◆

武満徹:地平線のドーリア

ドビュッシー:交響詩「海」

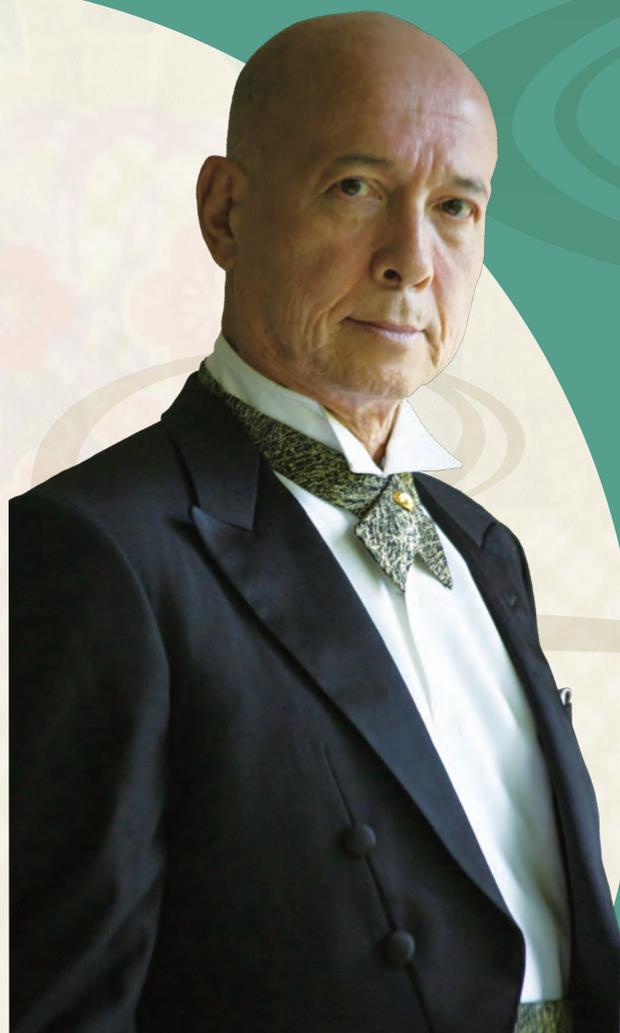
Ravel: "Daphnis et Chloe" suite No.2

Debussy: Nocturnes◆

Toru Takemitsu: The Dorian Horizon

Debussy: "La mer", trois esquisses symphoniques

The 678th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra  
京都市交響楽団



©Yuriko Takagi

指揮: 井上 道義

Conductor: Michiyoshi Inoue

合唱: 京響コーラス(女声)◆

Chorus: Kyoto Symphony Chorus (female chorus)



©京都市交響楽団

入場料 2023.3.10(金)から発売

◎5,500円 ▲5,000円 ■4,000円 ●3,000円

「U22」(当日残席がある場合のみ発売)

◎2,000円 ▲1,500円 ■1,000円 ●1,000円

※22歳以下のお客様が対象です。開演1時間前から発売(当日券売場にてお買い求めください)。電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。ご購入及びご入場の際には年齢の確認できる証明書をご提示ください。

チケット

ご予約

- 京都コンサートホール (075) 711-3231
- ロームシアター京都 (075) 746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード227-669
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード52475

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075) 222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/> →  
京都コンサートホール (075) 711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

※未就学のお子様のご入場はお断りいたします。◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2023年5月12日までに京響075-222-0347へお申し込みください)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受付を中止させていただく場合もございます。

◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-222-0347)までお問い合わせください。

◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱い(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。



主催: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団



協賛: ローム株式会社

協力: 株式会社ドルチェ楽器

後援: (株)エフエム京都

発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた  
音楽との出会いをお届けします。



**ラ**ヴェルにとって生涯の傑作であるバレエ音楽「ダフニスとクロエ」組曲第2番は、1913年に出版されました。これは現代のオーケストラにとって重要なレパートリーの一つとなっています。続くドビュッシー「夜想曲」は3部から構成され、第3曲に女声コーラスがヴォーカライズで入ります。この曲は数人の画家が描いた絵画から発想を得て、7年という時間をかけ、2作品の変遷を経て作曲されました。後半最初の曲は1966年に作曲された武満「地平線のドーリア」。「ドーリア」とは古代ギリシャのドーリア旋法で、時には笙のような響き、また時にはメロディアスな響きが聴き取れるとても興味深い作品です。そしてプログラム最後はドビュッシーの交響詩「海」。1905年初版スコアの表紙は葛飾北斎の『富嶽三十六景』から「神奈川沖浪裏」が印刷されたそうです。作曲の着想がこの絵だとは言えないそうですが、ドビュッシーの住んでいた部屋にも同じ絵が飾られていたらしく、この絵を気に入っていたのは事実のようですね。本公演の指揮者、井上道義は1990年から8年間にわたり京響の音楽監督と第9代常任指揮者を務め、1997年のヨーロッパ公演の実現、そしてショスタコーヴィチの交響曲を積極的に取り上げ、マーラーなど大編成の作品のプログラミング…京響との深い関わりのあるマエストロです。2024年末の引退を前にして〈京響×井上〉による希少な公演となります。お聴き逃しなきよう!



The 678th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

指揮

井上 道義

Conductor: Michiyoshi Inoue

1946年東京生まれ。桐朋学園大学卒業。1971年ミラノ・スカラ座主催グイド・カンテルリ指揮者コンクールに優勝して以来、一躍内外の注目を集め、世界的な活躍を開始する。ニュージーランド国立交響楽団首席客演指揮者、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、京都市交響楽団音楽監督&常任指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団首席指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督を歴任し、斬新な企画と豊かな音楽性で一時代を切り開いた。シカゴ響、ベルリン放送響、ミュンヘン・フィル、スカラ・フィル、レニングラード響、ベネズエラ・シモン・ボリバルなどにも登場している。2007年日露5つのオーケストラとともに「日露友好ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクト」を実施し、音楽・企画の両面で大きな成功を収めた。2014年4月、病に倒れるが同年10月に復帰を遂げる。2015&2020年全国共同制作オペラ「フィガロの結婚」(野田秀樹演出)、2017年大阪国際フェスティバル「パースタイン：ミサ」を自身23年ぶりに、2019年全国共同制作オペラ「ドン・ジョヴァンニ」(森山開次演出)、2023年「井上道義：A Way from Surrender ～降福からの道」、いずれも総監督として率い既成概念にとられない唯一無二の舞台を作り上げてきた。2010年「京都市文化功労者」、社団法人企業メセナ協議会「音もてなし賞(京都ブライトンホテル)」、2016年「渡邊暁雄基金特別賞」、「東燃ゼネラル音楽賞」、2018年「大阪文化賞」「大阪文化祭賞」「音楽クリティック・クラブ賞」、2019年「有馬賞」を受賞。オーケストラ・アンサンブル金沢桂冠指揮者。2024年末にて指揮活動からの引退を表明している。公式サイト <http://www.michiyoshi-inoue.com/>



© Yuriko Takagi

京都市交響楽団

City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年、第12代常任指揮者の広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月、広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーを開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞及び「第29回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」クラシック部門「現代音楽部門賞」を受賞。2020年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一(2022年3月まで)、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッド(2023年3月まで)が就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月からは第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任し、京響は今、新たなステージへ向けて、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

合唱 京響コーラス (女声) Chorus: Kyoto Symphony Chorus (female chorus)

1995年秋、京都コンサートホールが完成した当時の京響音楽監督&常任指揮者・井上道義の提唱で「京響第九合唱団」として結成。その後「京響市民合唱団」と改名し、2012年からはさらに音楽的な高みをめざして、京響の自主演奏会を軸にオーケストラ合唱作品に取り組む「京響コーラス」と名称を変更、創立者の井上道義を創立カペルマイスター、当時の京響常任指揮者広上淳一をスーパーヴァイザーに迎えて新たにスタートした。現在、約130名の団員で構成されており、毎週月曜日の夜を中心に京響練習場・京都市内文化会館等で練習を行っている。



©井上道義事務所 井上道義和

ご来場のお客様へ

新型コロナウイルス  
感染拡大防止に関する  
ご理解とご協力のお願い

以下の症状があるお客様はご来場をお控えください ●来場前に検温し、平熱と比べて高い発熱がある方、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状のある方。 ●新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある方、過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方。 ●その他、体調に不安がある方(高齢者や既往歴のある方等、重症化リスクの高い方は、医師の判断や関係機関の情報を確認の上、慎重なご判断をお願いいたします)。  
●ご自身の顔(目、鼻、口など)を触る行為にお気をつけいただくとともに、頻繁に手指の消毒・手洗いをお願いいたします。 ●ホール内でのご飲談はお控えください。  
●公演当日のホールにおける感染症拡大防止・予防への対応 ●ホール入口では非接触体温計を用いて、すべてのご来場者様の検温を実施いたします。 ●ホール内の換気をより強化し、外気入れによる換気を行います。 ●ホール内各所にアルコール消毒液を設置するとともに、手すりなどのホール内消毒を強化いたします。 ●演奏者の間隔、お客様と演奏者との間隔は十分な距離を確保いたします。 ●プログラム等の手渡しの配布はいたしません。ご自身でお取りいただきますようお願いいたします。 ●出演者・関係者・スタッフは自宅での検温やマスクの着用、手指消毒を徹底します。体調のすぐれないスタッフがいた場合は、そのスタッフが当日の運営を行うことはございません。 ●スタッフも、お客様へのお声がけのできる限り控えていただくことを、あらかじめご了承ください。